

京都和とじ館 [(有) オフィスコシイシ]
電話 075-771-7008

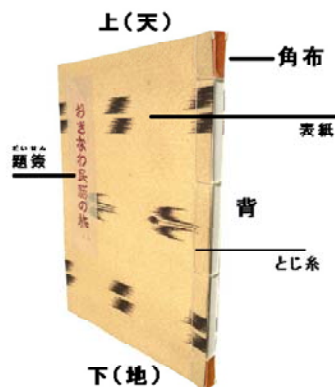


図 1

印刷屋様へ

- ※本文（中身）：御社で印刷、以下に述べます仮製本の状態でお渡しいただく。
- ※表紙：洋紙は不向きです。和紙か緞子（美術織物）が相応しい。和とじ館では豊富に表紙用の緞子をそろえておりますので、これをご使用ください。一冊あたり 200 円ほどから各種そろえています。
- ※タイトル紙（題簽）：印刷してお持ちいただいても、また私どもで準備しても構いません。1冊 10 円ほどから。

○次項でご説明いたします仮製本したものをお送りいただければ、あとは和本に仕上げます。

印刷上の注意点

1) 印刷用紙について

和本の特色は柔らかさです。用紙はできれば和紙印刷がベストですが、難しいのが実情です。洋紙をご利用の場合は薄くて柔軟性があるのが好ましいのですが、コート紙、アート紙でも対応は可能です。余りにも厚くて、開きにくいのは不向きです。

2) 袋綴じの必要があるかについて

伝統の和本は一枚の紙を真ん中より折り重ねる袋とじを行いますが、別に袋とじにせず、両面印刷でも問題はありません。

3) ページのレイアウトについて

和本（四つ目とじ）は背より 1cm 入った所を糸で綴じますので、最低背まで 2 cm は余白をとってください。

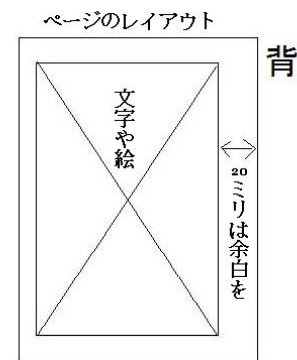
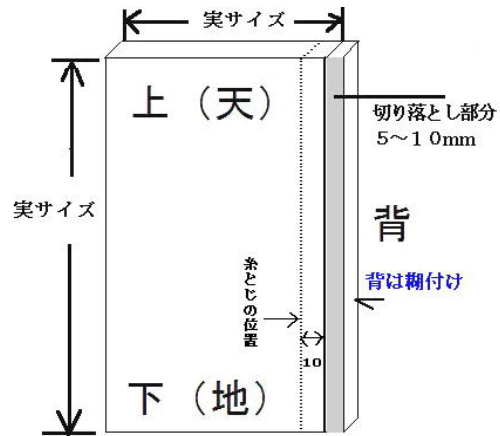


図 2

4) ページ数

ページ数に関係なく、厚さ 25 mm ほどまでできます。

◆ 以下のような仮製本の状態でお渡しください。



上下は実サイズ、背は5～10ほど長くして、背を糊で固める。 図3

扉の上、奥付の下にそれぞれ一枚白紙を置き（糸綴じの後に表紙と固定します）、上（天）下（地）は実サイズ（仕上がりサイズ）と同じサイズに化粧切りする。背は実サイズ（仕上りのサイズ）より最低5mmから10mm長くし、背を糊で固定し仮止めた状態てください。（上図3参照）糊は少なめが好ましい。

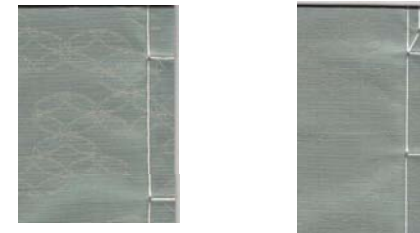
私どもの作業工程説明

1、図3の状態でもいただいたものを、まずコヨリ（紙紐）で仮とじます。〔図3実サイズより背側から5mm入った位置〕

2、仮とじした段階で、背を実サイズに化粧切りします。
〔図3の灰色部分を切り落とす〕

3、切り落として実サイズになった背の上・下に図1の角布を貼る。
※角布はなくてもよいのですが、飾りにもなりますので、つけることをお勧めします。

4、背より10mm入った所に四カ所穴を開けて、図1のように糸でとじる。
※とじ方は広く図1のように行われます（四つ目とじ）が、次ぎの図4のようにとじる事もできます。一冊あたり100円ほど高くなります。



四つ目とじ（部分） 高貴とじ（部分） 図4

5、表紙の上に題簽（だいせん）タイトル紙を貼る。

制作料金の目安 300冊（料金税別）

サイズA5・B6 ……一冊あたり400円ほど

サイズB5・A4 ……一冊あたり500円ほど

※表紙布（和紙も可）料金は別です。

（お断り）あくまでも標準料金で、冊数、糸などにより料金は変わりますので、必ず見積もりをお取りください。